

福島被災者がみたチェルノブイリ

～過去を知り・未来を見つめ・今を語ろう～

1年前、レベル7というチェルノブイリ原発事故と同等の事故が、ここ日本でおこりました
私たちは、いま、何を知り、学び、行動したらいいのでしょうか？

事故後25年が過ぎたチェルノブイリの視察を行なった福島被災者の方より、市民・生活者の視点でみたチェルノブイリ事故の実情と現在の暮らしについてご報告いただき、みなさんと一緒に話し合い、考える機会になればと思います。

報告者

- 認定NPO法人 日本チェルノブイリ連帯基金 事務局長
神谷さだ子氏
- 負けねえど飯館!!常務理事 ふくしま会議事務局長
佐藤健太氏(飯館村から福島市に避難)
- NPO法人 実践まちづくり
高村美春氏(南相馬在住 5歳の男の子の母)

プログラム

- 13:30～ 開会のあいさつ
 - 13:40～ チェルノブイリ視察報告
 - 15:10～ グループに分かれてトーク
セッション
 - 16:00 閉会
- ※手話通訳有

日時

2012年7月14日(土) 13:30～16:00

13:00受付開始

会場

茨城県立健康プラザ 3階大会議室

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町993-2 ☎029-243-4171

参加費

無料

定員

100名

託児

500円

(先着10名、1歳以上)

申込み



Kako.mirai.ima@gmail.com

Fax 029-353-8561

①参加者全員のお名前 ②お住まいの市町村 ③代表者連絡先(Tel/E-mail) ④茨城県外からの避難者の方は避難前の自治体をお知らせ下さい。

※託児をお申し込みの場合は、お子さんのお名前、年齢(月齢まで)、アレルギーの有無も合わせてお知らせください。
お申込みの方は、7月6日(金)までをお願いします。

※会場内に小さなお子様を連れての参加も可能ですが、その場合は、その旨もお知らせください。

主催 福島被災者がみたチェルノブイリ実行委員会

共催 福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト 茨城拠点

協力 みとちる～水戸の子どもたちを放射能から守る会～/子どもの未来を考える会 Air/希望のかけはし会/
ワンネス・エコ・ひたちなか/明日の子供を守る会 笠間/ボランティアネットワーク ホープいばらき

後援 茨城県/茨城県教育委員会/水戸市/水戸市教育委員会/ひたちなか市教育委員会/笠間市教育委員会/
生活クラブ生協茨城 県央ブロック・ひたちなか支部・水戸南支部・水戸北支部/生活協同組合パルシステム/
毎日新聞水戸支局/朝日新聞水戸総局/茨城新聞社/茨城読売新聞水戸支局

事務局 ふうあいステーション(認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ内)

310-0022 茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階 TEL 029-353-8560